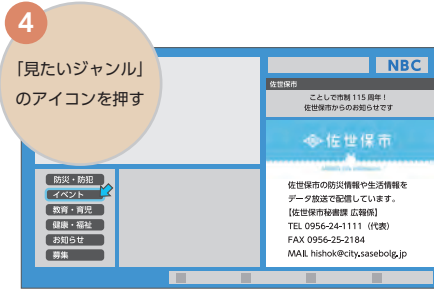
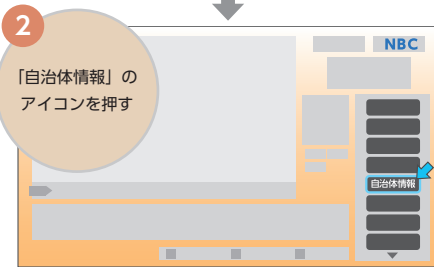


NBC データ放送「d ボタン」で市政情報を配信中!

4月からNBC長崎放送のデータ放送を活用した市政情報の配信を行っています。情報は「防災・防犯」「イベント」「教育・育児」「健康・福祉」「お知らせ」「募集」の6つのジャンルに分けてお知らせします。防災行政無線の内容や小・中学校の休校などの情報も随時配信しますので、どうぞご利用ください。

防災行政無線
の内容も
配信します



※リモコンのdボタンの位置は機種により異なります。
※アイコンを押した後、次の画面が映るまで、しばらく時間がかかる場合があります。
※ご自身の地域をテレビに登録すると上記③は省略されます(機種により異なります)。

☎秘書課 ☎24-1111

「キュービッドde婚活サポート」とは、結婚を希望している独身の方が自身のプロフィール等を佐世保市の管理しているデータベースに登録した上で、お見合い相手を閲覧し、キュービッド役と呼ばれる仲人さんが個別にお見合いの支援や結婚の相談を行う事業です。

平成29年度からは毎週土曜日(祝日を除く)の10時から17時にも閲覧や登録ができるようになりましたので、どうぞご利用ください。

※閲覧は前日までの予約が必要です。
※清掃作業などにより、土曜日に開庁できない場合もありますので、事前に佐世保市のホームページなどでご確認ください。

☎コミュニケーション・協働推進課 ☎24-1111

キュービッドde婚活サポート
土曜日も開庁します

人の動き

4月1日 現在
総人口 251,134人 (-1,718人)
男性 118,213人 (-992人)、女性 132,921人 (-726人)
世帯数 104,836世帯 (-318世帯)
3月中の動き
転入 2,267人、転出 3,880人、出生 182人、死亡 287人

させぼ市政だより

テレビ
NBC 土曜 9:25 ~ 9:30、NCC 土曜 11:40 ~ 11:45
KTN 土曜 11:45 ~ 11:50、NIB 日曜 6:30 ~ 6:35
ラジオ
FM長崎 火曜 9:05 ~ 9:10
FMさせぼ 金曜 13:00 ~ 13:55、土・日曜 8:00 ~ 8:55(再放送)
新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

市長記



徳育は家庭から カレンダーを家庭の話題づくり

先般、広報させば4月号と一緒に、平成29年度の「徳育推進カレンダー」が全世帯に配布されたことについて、市民の皆さまから「このカレンダーはどうして配ることになったの?」「どう使えばいいの?」などのご質問をいただきましたので、今回は本市の徳育の取り組みについて、お知らせしたいと思います。

本市は平成24年4月1日の市制施行110周年記念式典において「徳育推進のまちづくり宣言」を行い、毎年10月9日~19日までを「徳育強調旬間」に、毎月19日を「徳育の日」と定め、徳育に関するさまざまな取り組みを進めているところです。

特に「一徳運動」は市民運動として、学校や職場、地域団体などを中心に広く取り組んでいただいているところですが、「徳育は家庭・家族が中心になるのが基本であり、その認識を市民の皆さまにさらに共有していただく必要があるのではないか」との提言を佐世保徳育推進会議からいただいたことから、今回「徳育を家族で常に意識していただく取り組み」として、これまで団体や企業に配布していた徳育推進カレンダーを、全ての家庭に配布することとしたものであります。

この徳育推進カレンダーの徳育標語は、佐世保市PTA連合会と佐世保徳育推進会議が、小・中学生や保護者を対象にコンクールを実施して入選されたものです。標語の中に「徳目(仁・義・忠・孝・信など徳の基本とされるもの)が込められていますので、ぜひ各ご家庭の話題の一つに取り上げていただきたいと思っています。

また、この徳育推進カレンダーの活用方法としては、できる限り毎日目に触れるところ(例えば、トイレの壁面など)に掲示されることをお勧めします。そして、カレンダーには、家族の誕生日や記念日を記入したり、可燃ごみや不燃物、資源ごみの収集日を記入されたりして、各家庭の話題づくりに活用していただきますことを期待しています。

「徳育」は、ご先祖さまから祖父母へ、そして親から子へ、さらには孫からひ孫へと、伝え続けていかなければなりません。各家庭に伝わる「徳目」を、ぜひ次の世代にお伝えいただきたいと思っています。この徳育標語が各家庭における徳育の参考になり、本市の徳育推進につながりますことを願っています。

佐世保市長 朝長 則男

徳通信

聞いて「徳」する話 24 大切なもの

あるテレビ番組で、東日本大震災に関する番組が放送されていました。

「いえ、それは違うよ、おばあちゃん。息子さん夫婦もお孫さんも天国できつと見守っているから、一緒に頑張っていきましょうね」

福島で被災したおばあさんに向けた中学2年生の少女の言葉です。福島の学校でチャリティーコンサートを終えた歌手の方に「私のような年寄り生き残り、息子夫婦と幼い孫が亡くなってしまいました。私の命と引き換えにしてほしい」と落胆して話し掛けた言葉に対する返事です。

災害は生き残る者、犠牲となる者、人を選びません。辛く悲しく、心が癒えることはないかもしれません。それでも生き続けていかなければならないのです。

おばあさんが学校を後にするときに、「さっきの娘

さん、実はご両親も兄弟も亡くなっているのですよ」と教えてくれる人がいました。

自分の辛さを嘆き、人の心など考える余裕を持たない私の胸に、深く染み込む放送でした。

権常寺町 大淵 利恵(60代)

「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙に必要事項を記入し、事務局に応募してください。応募用紙は市ホームページからどうぞ。

事務局

佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)
〒857-0054 栄町4番11号
電話・ファクス 23-2856
Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

※この徳通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう!